

議事録名：潤生園 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 平成 29 年 6 月度 介護・医療連携推進会議			
日 時	平成 29 年 6 月 17 日（土）13:30～14:30	議事録	6 月 17 日
場 所	潤生園 みんなの家ほたるだ		書記：J
出席者	<input type="checkbox"/> A 様 利用者家族 <input type="checkbox"/> B 様 エイチ・エス・エー居宅介護支援センター ケアマネージャー <input type="checkbox"/> C 様 オギクボ薬局居宅介護支援センター ケアマネージャー <input type="checkbox"/> D 様 陽だまりの家在宅サービスセンター ケアマネージャー <input type="checkbox"/> E 様 れんげの里ケアマネジメントセンター ケアマネージャー <input type="checkbox"/> F 様 地域包括支援センターひがしとみず ケアマネージャー <input type="checkbox"/> G 様 潤生園訪問看護ステーション 地域の医療関係者 <input type="checkbox"/> H 事業者 潤生園訪問サービスセンター 管理者 <input type="checkbox"/> I 事業者 潤生園訪問サービスセンター 計画作成担当者 <input type="checkbox"/> J 事業者 潤生園訪問サービスセンター 計画作成担当者 <p style="text-align: right;">（以下 敬称略） <input type="checkbox"/>出席</p>		
資 料	・出席者名簿 ・平成 29 年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 稼働実績表 <p style="text-align: right;">以上、事前配付・当日配付</p>		
議題及び議事内容			議決事項
1. 開会挨拶 管理者より開会挨拶を行う。 2. 出席者紹介 出席者紹介 3. 平成 29 年度 運営状況報告 【5 月】 利用者数 28 名（新規 5 件 終結 2 件） 訪問看護利用者 医療保険での利用も含め 9 件 ▼終結者の理由 <A 様> 自立 <B 様> 家族が対応 ▼状況報告 ・利用者の要介護度は平均して要介護 2 となっている。 ・指定訪問介護・夜間訪問介護から定期巡回への移行が増えている。 ・定期巡回とショートステイを定期的にご利用しながら在宅生活を維持されている利用者も多くなってきている。			

- ・6月より、みんなの家ほりのうちを利用のF様を、ほりのうちスタッフがヘルパーを兼任し定時訪問の一部を訪問している。デイも利用されており、F様の普段の状況が分かっている人が関わっていくことで良いケアに繋げていける。

▼ケース報告

- ・先月一回のみ洗髪で利用された方がいました。人と関わるのが苦手な方なので、今後は、本人の意思を尊重しながら関わっていく方向。
- ・服薬の介助・確認のみで訪問しているケースは三件あり、生活の大部分を自立して過ごされている。今後、服薬に関してはケアマネージャーと相談しながら関わっていきたい。

4. 質疑応答など

・M様について

(G様) モニタリングを定期的に行い、定期巡回に関わっているが、服薬管理についてはしっかり行えている。現在訪問しているが、認知症があり、短期記憶の保持ができない独居の方がいる。入浴と更衣が出来ていない状態で、2時間近くかけて入浴を促すが、だいぶ洋服を脱いだところで、また着てしまったり、脱がせようとする「いいです」と拒否される。サービスを開始してから4回入浴はできたが、訪問する以前は、更衣も一度もしていない様子なので、入浴を行っているのか確認をすると、「入っているし、着替えている」と言われ、家族も困っている状況。排泄等は自分でできている。

(D様) 本人は、入浴はできていると思っている。家事能力もあり自分で生活ができていると思っている。

(G様) 娘様より入浴をしてほしいと依頼がある。ダニなのか最近ブツブツができています。

(D様) 本来ならグループホーム対応のケース。配食を頼んでいて食事のコントロールは摂れているので、栄養状態は良いです。

(G様) だいぶ人が出入りすることに慣れてきたところで、ヘルパーが訪問回数を増やして部分清拭や更衣などを行い、少しずつ保清していくのも良いのではないか。

・M様について

(C様)2年位前に自宅で転倒を繰り返されていた。頭部CTを撮ったら脳梗塞を起こしていられた。2月に転倒し救急を呼ぶも、本人が搬送を拒否し、救急隊はそのまま帰ると言うことがありました。3月中旬に転倒した際は、転倒した状態のまま二日間飲食等をして過ごされ、奥様より私に起こせないと連絡がきたので訪問し、救急要請をして入院となる。4月中旬に病状が安定され、在宅で生活できると退院したが、ベッドでずっと過ごされていて、動けなくなってしまう。本人に動くよう話をしても「トイレも入浴も全部自分で行っているから帰れ！」と罵倒したり手が出たりし拒否が強い状態。動きたくても、短期記憶も低下していて、動作自体を忘れてしまい動きが分からなくなっている様子。介助する人の性別によっても拒否の有無があり、男性に対して拒否が強く出る。

(H) 気分によるものもあるが、動作を一つ一つ分けて声掛けを行うと動けるように思われる。

(C様) 奥さんの思いもゆれうごいている。奥様自身も以前のM様とのギャップを埋められないでいるようです。時間的にも余裕のない場面で、入浴後にバスローブを持ってきて着るように促したり・・・

(H) M様は落ち着かれると「ありがとう」との発言もある。

(C様)自分がこのような状態になったことが理解できない。一日一回の離床をする時間も今後調整を考えていこうと思っている。入浴も定期巡回でお願いでき助かっている。

(H) 入浴は現在の状況では危険もあるので二人で対応している、夜間と夕方の排泄に関しては、オムツ交換時に男性介護者に微妙に拒否があるが、少しずつ協力して身体を動かして下さるようになってきている。車椅子への移乗は、まだ強く拒否がある。奥さんもヘルパー等の出入りがあり、疲れている様子が見受けられる。M様に大事にされて生活されてきた方なので。

(C様) 関わって行く上で、奥様の存在がプラスでもありマイナスに働くこともある。

・利用者家族からのお話

(A様) 今回初めて参加させて頂き、利用者の家族として色々な利用者がいられるのだと、母のことを思い出しながら聞いていました。平成 26 年 8 月からサービスを利用しております。最近は徐々に、服薬やトイレに行く事が出来なくなってきている。

1 食分の配食を昼と夕に分けて食べているが、これから暑くなってくるので、食中毒が心配になっています。

(H)そうですね。対応策を考えていきますね。

(A様)現在リハビリパンツを使用していますが、布パンツからリハビリパンツへの移行する時は、悩みました。以前に夏場、布パンツを 5~6 枚重ねて履いたり、炬燵の中に便で汚れたパンツを入れてしまったりしたので、布からリハビリパンツへ変えました。最近は、汚すことが減ってきたのでデイサービスでは布パンツに戻してもいいのではと言われ迷っている。ヘルパーさんに会うときは色々と情報交換をさせて頂きありがたいです。自分が温かい食事を食べていると、母は冷たい食事を食べているのにと、母に申し訳ない気持ちになる。母が家にずっと居たいという思いが強くあり、それを叶えてあげたいという気持ちがあるので定期的に母の所へ通っているが、一人では支えきれないのでヘルパーさんが来てくれてとても助かっている。

(B様)初めて会議に参加させて頂き、色々な事例が聞けて良かったです。定期巡回は独居の方に利用するサービスだと思っていたが、きめ細やかな対応をされていると知り勉強になりました。

(D様)入浴も対応してくれるとは知らなかった。

(H)定期巡回を利用すると、他の訪問介護は利用できない、訪問入浴を利用すると単位数がオーバーしてしまうので、ケースによっては入浴も対応している。

(D様)滞在型の訪問介護とどう違うのか？

(H)20 分未満の訪問を時間を空けなくても訪問できるので、例を言えば生活援助の洗濯などは連携して行えたりもする。利用者の生活に合わせてサービスを提供できる。

(B様)定期巡回は助かる取り組みです。関係者と一緒にケアの方向性を考えていける。

(D様) ケアやサービスを臨機応変に対応できるのですね。

(H)月一回体調に合わせて訪問するケースもあり、訪問を開始してからわかることもある。

(E様)ケアマネがアセスメントしても、ヘルパーさんが入り込みをしてわかる事もあるので、柔軟に利用者の生活リズムに定期巡回の入り込みを合わせる事もできる。

(H) 潤生園だけで定期巡回を担っていくのは人員の事も難しい、他事業所への委託の話も進めている。

(B様)滞在型の訪問介護では、利用者の体調に合わせてプランを変更するのは難しいが、定期巡回なら利用者に合わせられる。

(H)同行の買い物等も相談しながら行えればと思っている。ご利用者は、様々な疾患を抱えているので、訪問看護がご利用者の様子を見ていてくれるので安心してサービスの提供ができる。

5.閉会の挨拶

Hより閉会の挨拶

- ・次回開催予定 :平成 29年 8月 19日 (土) 13:30～
潤生園 みんなの家ほたるだ